平成３０年９月１２日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第九回会合の開催について

１．趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応について検討するために，９月１２日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第九回会合を開催。

２．タスクフォース出席者

議　長	西村　康稔	内閣官房副長官
副議長	古谷　一之	内閣官房副長官補（内政）
	兼原　信克	内閣官房副長官補（外政）
構成員	多田　明弘	内閣府政策統括官（経済財政運営担当）
	有泉　秀	金融庁　総合政策局参事官(国際担当) （金融庁　総括審議官代理）
	吉田　眞人	総務省　国際戦略局長
	山上　信吾	外務省　経済局長
	齊藤　純	外務省　欧州局参事官
	高見　博	財務省　大臣官房審議官（関税局担当）
	吉田　学	厚生労働省　医政局長
	横山　紳	農林水産省　大臣官房総括審議官（国際）
	田中　繁広	経済産業省　通商政策局長
	吉田　晶子	国土交通省　大臣官房審議官（国際）
	其田　真理	個人情報保護委員会　事務局長

３．第九回タスクフォースの概要

（１）９月１２日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第九回会合が，議長である西村官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）同会合では，各府省庁等から，英・ＥＵ間の離脱交渉を始めとする，これまでの展開について得られた情報や現時点の分析について報告があり，今後の対応について検討を行った。

（３）西村官房副長官は，①英国及びＥＵは，精力的に交渉を行っているが，予断を許さない状況である，②また，欧州委員会及び英国政府はそれぞれ，交渉決裂のおそれが高まったことを示すものではないとしつつ，あらゆるシナリオに備える必要があるとして，離脱協定に合意できないまま英国がＥＵを離脱する場合に備えた文書を発出している，③我が国としては，交渉の透明性及び予見可能性に加え，移行期間の設置を通じた法的安定性の確保が不可欠との立場から，英ＥＵ双方に働き掛けを継続していくと述べた。

（４）また，西村官房副長官から，①第一に，英国及びＥＵの双方が，英国が離脱協定に合意できないままＥＵを離脱する可能性を含めた，あらゆるシナリオへの備えを進めていること等，ＥＵ進出日系企業をはじめ経済界への最新の情報提供を継続し，最大限の必要な支援を行うこと，②第二に，ＥＵ進出日系企業を含む我が国経済界へのブレグジットの影響が最小となるよう，英国とＥＵへの働きかけを強化すること，③第三に、引き続き関係省庁の所管業界のブレグジットへの準備状況をきめ細やかにフォローしていくことにつき，関係府省庁に対し指示があった。　（了）